

主催：Boku 国際交流音楽俱楽部



いくとぴあ食花センター コンサート

## こころ踊る、癒す、アフリカンリズム

【子どもの創造性、心豊かな人間性を育むダイナミックな活動】という「水と土の芸術祭こどもプロジェクト」の理念は、B.B.モフラン氏の音楽の本質そのもの。アフリカンドラムの鼓動は自然に根差し、深い人間に育まれた音楽。楽譜を一切用いない音楽の力によって、障害や年代を超えて、人々がつながり合うことで、文化の振興、地域の賑わい、交流、被災地の心の復興を生み出すことを目的として、B.B.モフラン氏(劇団四季ライオンキング初代パーカッション奏者)によるアフリカンコンサート(ライブ)・ワークショップを新潟・宮城で企画・開催した。参加は親子、家族、3世代など様々。世代や地域を超えて、音楽で心をつなぐことができて良かった。音楽はコミュニケーション！ 楽譜を一切使用せず、音楽のもつ交流感、有能感、達成感などの専門特性を活かしてファシリテートした。プログラムは、全国各地での実践から、より一層練り

上げてきた前回より治癒的なものを実践してもらい、参加者には一過性のイベントではなく、家族間、世代間交流、他者理解などを体験してもらった。達成感、交流感、有能感などは、数値に表しにくく、目にも見えにくい。社会ニーズを的確につかみ、プログラムに盛り込み実施し、地域での社会認知を高めることが重要と考える。今回の市民プロジェクトでは、さらに広範な分野に呼びかけ、新潟市民の健やかな市民生活に寄与できた。被災地では、区、町との連携が広がっており、課題解決へ向け、さらに前進していきたいと考える。音楽療法、アフリカンリズム、双方の社会認知がまだ低いなかで、粘り続けてきている。今後もアフリカンコンサート(ライブ)、ワークショップやアフリカンリズム・音楽療法について拡げ続けていきたいと思っている。

- 8月25日(土) ワークショップ (ふれあいエスプ塩釜)
- 9月16日(日) コンサート (いくとぴあ食花センター)
- 10月7日(日) ワークショップ (ふれあいエスプ塩釜) 他2件